

コード	名 称		区分	コード	名 称		
事業名	984	庁舎維持管理経費	会計	01	一般会計		
			款	02	総務費		
			項	01	総務管理費		
基本 施策	99	対象外	目	01	一般管理費		
			細目	103	庁舎管理経費		
行革大綱の重点事項番号			細々目	01	庁舎維持管理経費		
担当部課	コード	650100		担当者 氏 名	中瀬 昌恵	連絡先 (内線)	43 - 1543
	名称	阿山支所 振興課					212

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	来庁者、職員、地域住民 阿山支所庁舎・多目的集会施設
成果(どうする)	市民が利用しやすい施設環境、良好な自然環境を整える。 利用者の安全確保に努めるとともに、適切な職場環境を維持する。
根拠法令・要綱等	伊賀市庁舎管理規則、下水道法、伊賀市公共下水道条例、同管理規則
開始年度	平成 年度
終了年度	平成 年度
関連事業	
H21 事業 内容	現状維持を基本とし、庁舎・設備の維持管理、清掃業務等を実施。 下水道排水設備工事を施工し、平成22年3月、使用開始。
社会情勢 の変化等	阿山支所庁舎は、昭和55年に建築されており、30年が経過した。安全確保を最優先で維持管理を実施しているが、施設全体に老朽化が進んでおり、庁舎管理に係る修繕料、維持管理が高額になってきており、雨漏り箇所や空調機器については将来的に大規模修繕、もしくは新調の必要性があるとの指摘をうけている。平成22年度に、産業建設部が阿山支所庁舎に移転したことで、光熱水費、燃料費の使用量が增大する。

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)		運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)	
1 建設用地		1 運営主体	
2 建設面積 (延床面積)		委託先	
3 規模・構造		2 配置人員	人
4 総事業費	千円	3 年間運営費	千円
		4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動 指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
	庁舎清掃面積(日常)	㎡	目標	2040	目標	2040
			実績	2040	実績	2040
	嘱託職員、臨時職員雇用(宿日直業務)	人数	目標	6	目標	6
			実績	6	実績	6

成果 指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
	光熱水費の削減率	目標値は、当初予算額とする。庁舎の電気、水道料の削減を図る。削減率=100-(支出額/予算額×100)	%	目標	5	目標	5
				実績	17.4	実績	13
	修繕工事件数	修繕することにより利用者の安全と施設の快適さを図る。	件数	目標	15	目標	13
				実績	9	実績	10

投入 コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計 (A)	19,316	17,655	18,132	20,000				
A の 財 源 内 訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	53	53	40	40			
一般財源	19,263	17,602	18,092	19,960				
事業投入人件費 (B)	1.0 人	7,200	1.0 人	7,200	1.0 人	7,200	1.0 人	
フルコスト(A)+(B)	26,516	24,855	25,332	27,200				

事務事業の評価 (Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
有効性	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
達成度	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高サービス水準や対象を見直す余地がある。	
効率性	当初設定した計画を 80%以上100%未満 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無 無	
効果性	【予算の繰越がある場合、繰越の種類】	
	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
効果性	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
効果性	受益者負担を求めることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	○
効果性	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	今後の課題として、耐震改修工事、公共下水道排水設備工事、空調設備改修工事を計画していく必要がある。
昨年度の 取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる
	【詳細】 20年度より経費を抑える事ができた。

今後の方向性 (Action)

担当課長氏名	橋本 忠大
事業の方向性	【方向性】 内容変更
	【理由】 産業建設部が阿山支所に移転したため、経費等が増額となる。
現時点における課題、その他	経費の削減
課題、その他に対する改善策 (いつまでに、何を、どうする)	電話料金、電気料金、水道料金等の経費削減改善策を23年度までに考える。